

道内
経営TOPに
会いに行く!

5

「人のお役に立つ」という企業ミッションを、
確実にクリアしていくことが
社としての利益にも
つながっていく。



車の事故や故障に対して24時間体制で対応するレッカー事業や運送物の仲介ネットワークといった部門を担当する株式会社札幌総輪。株式会社北海道家具輸送のグループとしての重要な一翼を担う同社にフリーアナウンサーの室田智美さんが訪問。同社の代表でありながら、グループ代表の夫人という立場でグループ全体をサポートしている今井ひとみさんにお話を伺った。

—札幌総輪とはどんな会社？

レッカー部門を導入するなど、以前は違う名前
でやっていた事や新しい業種も加えながらやって
います。レッカー事業(事故や故障の車を移動する)
が主ですが、他にも若くはスタッフが、電話一本で荷
物の流通車両の手配をしています。その中には
グループ会社である「家具輸送」もあり、協力し合
って運営しています。他には一般海産物・農産物も
直接漁師さんや農家さんと取引する中で、全国に
発信していくこの部門も少しずつ広がっています。

—そんな御社が大切にしていることって？

「人のお役に立つ！」ということ。人生死ぬまで
生涯人と人との関わりがあります。家族、友人、ご
近所様、お客様等々全て。仕事も人と人との関わり
全ては関わっている方々のお役に立つ事。この時
世、労働時間の問題や人手不足の問題等、頭の痛む
事柄は山ほどありますが、代表が暗く落ち込んで
もいられません。社員にも家族がいます。みんな
を守らなければならない使命があります。常に
自分の尻を自分でたたき、自分にはつばをかけ
ています(笑)

—そのエネルギーの源は どこにあるんですか？

弊社に関わる社員やドライバーの一生懸命さで
す。現在グループ全体には95名、札幌総輪は内10名
32歳から56歳までが在籍しています。平均年齢は
50歳位。女性は私と課長の2人ですが、中身は男
前(笑)です。

—「男前なところ、お話からも伝わってきます。」

私、義理人情を大事にしたいんです。どのお仕事
にもミッション(任務・役割・使命)があります。消防
士さんは、生活の為に仕事はしていません。「人を
救う」というミッションの中、人命救助の役に立つ
ために仕事をしています。だからこそ厳しい訓練
にも耐えられる。仕事というものは基本的に生
活の為にしていますが決してそれだけではない。
この人の為とか会社の為とか…そう思った分量
結果が自分の為になる。自分にかえってくる。どん
な仕事も背後に仕事を愛する事。そうするとエネ
ルギーが湧いてくると思います。理性・理屈だけ
はうまくいかないような気がします。与えられた
ミッションに対して愛や感謝を注げたら凄い事が
起きる気がします。エネルギーやパワーはどこで
スイッチが入るか。今の若者は時代の変化でIT
企業にすむ方が多くコンピューター相手に人と
関わる場が少なくなっています。だんだんと人の接
触が薄れてきていくように淋しくなる事がありま
す。物事を考えているのではなく、頭で考える傾向
に。ですから「義理人情？」何ですか？と逆に質
問される淋しい世の中になりました(汗)人を育て
るといふ事は本当に大変な事ですが、しっかりと
後ろ姿を見せられる人間にならなければ…。反省

材料は、上にあり己にありです。

—若手の育っていない部分が見えたとき、感じら
れるときは？

それは全て、己の責任です。
—やっぱり男前ですね。

いかにさまざまな事に気づいてもらって、中心に
自分が入っていくのか…。弊社は建物も外観は古
く、立派なビルの1室でもありません。石狩の方
にも倉庫と事務所を構え、ほとんどの社員は石狩で
すが、この(西区)土地も、約何十年前も前から農家
さんからお借りしています。お家賃をお支払いし
て古くからお世話になっているのもちろんの事
ご近所さんにも、本当に有難くお世話になっていま
す。夜中にトラックやレッカー車の出入り、ご理解
がなければここで事業はできません。本当に、
ここでお仕事をさせて頂ける事、有難く感謝して
いるんです。

—それが義理人情！ですね。

常にうちの(グループ)代表は、腰に刀を抱えて
いるような熱い侍で…。でも、抜くことはいくら
よね？何かあったら！本当に抜くとしたら、私にじ
やないですか(笑)。でも、まだ抜かれた事はありま
せんが(汗)。抜かれないようにしたいですね。

—それほど命をかけて、従業員を守り抜く！という
思いに溢れている？

そうですね。従業員を守る。その家族が居ます。
会社を守るのも、代表の使命です。365日、34年
人生共にしている私は、一番よくわかりまし、そ
の思いを皆んなに伝える事が役割とも思っていま
す。ご近所さんに口頭、迷惑をおかけしているの
で、少しでもお役に立とうと排雪したり、まだま
だ足りていませんが、そういう発想も代表ポスの
発想。顔は鬼のような顔していますが、心は物凄く
熱く優しい侍なんです(笑)。

—この会社だからこそ、この会社にしかできな
い、土地に根差した貢献ですね。

手の空いた社員で、農家さんの草抜きのお手伝
いに行ったり、まだまだ感謝の恩返しも足りてい
ませんが、自然に志に対してリーダーシップを取る社
員が増えてくると嬉しいですね。仕事も全てここ
からご縁をいただくかわかりませんが、基本とし
て大事にしていきます。引越しもレッカーも流
通事業も物販事業も、会社对社会のものから、個人
の方からも、安心してご依頼いただけるような、そ
んな札幌総輪でありたいです。受けているだけで
無く、市場を自らどんどん広げて。その為に、ミ
ッションを1人1人が経営者の思いをもって仕事
してくれれば、有難いと思います。その為にはガ
ラスのような透明性をもって、風通しの良い、会社
の為に色んな話のできる、言い合える環境にして
エネルギーを会社にしたいですね。



株式会社 札幌総輪

〒063-0828 札幌市西区発寒8条9丁目3-3
<http://www.kagu-unyu.co.jp/souwa/>

代表取締役 今井ひとみ

旭川出身。トラックに関わる別の仕事に従事していた際に
取引先として顔なじみであった現在のご主人と出遭い結婚。
札幌本社である(株)北海道家具輸送を起業するにあたって
献身的にサポートするその一環として、
グループ会社である(株)札幌総輪の代表に就任する。

■インタビュー：室田智美(フリーアナウンサー)

創業者の奥様という立場からなのか、従業員に対する「愛」を非常に感
じました。女性らしい外見からは想像できない程の「男前」さはすっかり
ファンになってしまうくらい！貴重な出会いとご縁に本当に感謝です。



とにかく「人のお役に立つ」ということに終始一貫した姿勢を持ち続ける同社。
周辺地域に対する想いと義理人情の厚さが、
取引顧客との深い関係性を保っている根本なのでしょう。
今後は他分野にわたって女性のネットワークを広げ、
将来保育園を創設し、シングルマザーで頑張っている方が安心して働ける
環境を作りたいと語る今井さん。同社の今後がますます楽しみです。